



金野尚人藤里町教育長へ寄贈する組合長



高橋誠也能代市教育長へ寄贈する組合長

農業の魅力伝えたい ～食農教育教材贈る～

農業の魅力伝えたい、食農教育教材贈る。当JAでは今後も食農教育の一貫として、畑作体験や収穫授業体験など、将来を担う子どもへ農業に触れさせる機会作りを取組んで参ります。

JAあきた白神では5月1日、子どもたちに農業の魅力伝えるため、JAバンクの補助教材「農業とわたしたちのくらし」を能代市教育委員会と藤里町教育委員会に合わせ320冊を寄贈しました。能代市と藤里町では小学5年生を対象に食農教育をテーマに学習を行っており、教材本として利用されています。教材本は生活を維持するために必要な「食」とこれを生み出す「農業とくらし」「農産物の生産」等について、写真やイラストを使ってわかりやすく説明されています。工藤組合長は「子どもたちが少しでも農業に関心を持って身近に感じてもらいたい」と話し、高橋誠也能代市教育長と金野尚人藤里町教育長に教材本を手渡しました。



新しい役員で魅力ある店舗作りを目指すことを確認

はまなす産直会総会 ～新会長に工藤さん～

農産物直売所「みょうが館」を運営している「はまなす産直会」の総会が4月11日開催され、令和6年度の販売計画を1億2千万円に設定しました。また、役員改選も行われ、新会長に工藤常子さんを選出しました。総会には会員34名が出席。新年度はイベント・出張販売での消費者との情報交換をしながら、常に安全安心を心がけ顔の見える魅力ある販売を行い、消費者に愛される直売所をめざします。

豊作に向け水稻指導 ～育苗ハウス現地巡回～

水稻育苗の初期成育の確認や農家からの相談にこたえるため、4月22日から管内3地区で水稻育苗ハウス現地巡回指導が行われました。営農指導員が各生産者の育苗ハウスを巡回し、床土や苗の状態、温度管理等について細かく確認。巡回した指導員は「天気予報を確認し、ハウス内の温度に気をつけ、換気を行うなど小まめな管理をするように」と豊作に向け、健苗育成を呼び掛けました。



各農家のハウスで個別指導する指導員

淳城西小学校の畑作体験が4月19日、JA能代営農センターに隣接する農業体験学習農場で開かれ、女性部能代支部の女性部員の指導の下、参加した小学5年生45人が元気にそれぞれの畝に「じゃがいも」と「白神ねぎ」を定植し、畑作体験を通して「食」と「農」の大切さを学びました。

食農教育の一環として毎年開催しているもので、今年も立派な「白神ねぎ」になるよう願いを込めて、定植機「ひっぱり君」を使って定植しました。6月には「さつまいも」を定植する予定で、7月の「じゃがいも」収穫、9月の「白神ねぎ」と「さつまいも」の収穫まで体験学習が行われます。

淳城西小学校畑作体験 「食」と「農」の大切さ学ぶ！



じゃがいもの生育について説明をする佐々木支部長



能代営農センターとりにある圃場案内板



JA職員が見守る中、穴掘りに夢中



一人3個の「じゃがいも」定植に一生懸命



初めての「ひっぱり君」に四苦八苦



皆が見守る中、真つすくな植付に得意満面